

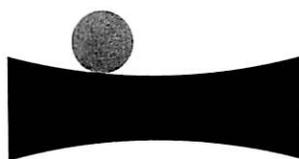
ISSN 2187-3410

Annual Report

No.1 2012

新潟大学災害・復興科学研究所

年報 第1号 (2012)



Research Institute for
Natural Hazards
and Disaster Recovery
Niigata University

腎不全医療における他県，地域との連携体制構築

成田 一衛

1. はじめに

東日本大震災に引き続く福島第一原子力発電所の事故により，福島県いわき市の500名以上の透析患者の腎不全医療が壊滅し，彼らの生命が危機に瀕した。私共は新潟県と協力して150名以上の血液透析患者を受け入れ，県内の関連施設において彼らの透析医療を提供した。この際に，広域災害における腎不全医療特有の問題点が明らかになった。また同時に，県や地域を越えた協力体制の構築が普段から必要であることが，改めて認識された。

現在新潟県内には4500名以上の血液透析患者が存在する。腎不全医療は電力と豊富な水が前提となるため，災害に対して非常に脆弱な医療である。中越大地震，および中越沖大地震においては，私共は県内の地域間での協力体制で乗り切ることができたため，今までは県を超えた医療の協力体制の必要性を十分に認識していなかった。したがって，連携体制やマニュアルはなく，この度の医療提供においては，手探りの部分も多かった。

しかし，本県に大災害が生じた場合には災害の規模や内容に応じて，これらの患者の搬送と透析が必要となるばかりでなく，住居や食料の提供も迅速に用意される必要がある。この経験を活かし，私共は行政単位を超えた腎不全医療の災害時協力体制の構築を目指し，本研究を開始した。

2. 調査の方法

新潟県内の透析施設へのアンケート調査により，災害時の医療提供能力（物資，スタッフ）と，緊急時の連絡方法（携帯電話，メールアドレス，災害時優先電話など）を全ての施設について把握した。

新潟県や，関東都県との協力体制について，行政を通じた申し入れを行う。透析医療の他県代表者との打ち合わせを行う。

2. 1 調査位置

新潟県全県51カ所の透析施設

2. 2 調査期間

平成23年4月1日～現在も継続中

3. 調査結果

新潟県内51全ての透析施設の緊急時および平時の連絡先を把握した。

災害時の透析医療提供能力については，災害の規模や内容により異なるが，概ね最大700名と考えられた。

行政を通じた関東都県との協力体制構築については現在進行中である。

4. まとめ

関連する透析施設のネットワークを構築した。関東都県と新潟県との連携体制を構築するための打ち合わせを今後行う必要がある。

参考文献

著書

1. 成田一衛：透析室における地震災害対策 透析室における地震，災害対策—透析施設災害ネットワーク，透析療法における様々な疑問に答える series6（前田貞亮，川口良人，岸本武利，鈴木正司，秋澤忠男監修），pp288-295，メディカルレビュー社，大阪，2011.

総説

1. Kazama JJ, Narita I: Earthquake in Japan. Lancet 377(9778): 1652-1653, 2011.
2. 風間順一郎, 成田一衛, 甲田豊: 東日本大震災における透析患者の集団避難. 日本集団災害医学会誌 16 (3): 364-364, 2011.
3. 風間順一郎: 特集 透析室の災害対策2 支援施設の体験に学ぶ. 新潟大医歯学総合病院. 透析ケア 18(3): 266-270, 2012.
4. 風間順一郎: 透析患者の新潟への集団避難. 今日の移植 25 (2): 111-115, 2012.
5. 風間順一郎: 特集 東日本大震災と透析医療: 新潟への避難. 臨床透析 28 (3): 359-366, 2012.

国際学会

1. 〈The 44th Annual Meeting of the ASN 2011.11.12. Philadelphia〉○Kazama JJ, Kaneko Y, Iino N, Goto S, Narita I: Emergent support for dialysis patients evacuated from the northeast Japan earthquake disaster- Lesson from previous earthquakes.

国内学会

1. 〈第54回日本腎臓学会総会／第56回日本透析医学会総会 2011.6.19. 横浜〉○風間順一郎：新潟県の対応。緊急企画：東日本大震災と透析医療：支援地からの報告。
2. 〈第17回日本集団災害医学会総会 2012.2.22. 金沢〉○風間順一郎, 成田一衛, 甲田 豊：東日本大震災における透析患者の集団避難。パネルディスカッション：東日本大震災で新たに発生した問題と医療支援における新たな試み。
3. 〈第17回日本集団災害医学会総会・学術集会 2012.2.21-22. 金沢〉○風間順一郎, 成田一衛, 甲田豊：東日本大震災における透析患者の集団避難。